

千成学区納涼大会



【千成学区】

■世帯数：5,515 世帯

■人 口：10,534 人

■面 積：0.956 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 毎年8月の第1 土曜日と日曜日に押木田公園を会場に納涼大会を開催。延べ参加者数は約 2,400 人。
- ・ メインの「盆踊り」と「子供相撲（小学生以下が対象。300 人が参加）」を盛り上げるため、千成学区祭り同好会による夜店が集客している。
- ・ 計画書の作成、機材及び業者の手配、チラシ・ポスターの作成、土俵作成など、大会準備は実行委員会が中心となって進める。
- ・ 大会初日には役員約 200 人が会場設営を行い、翌月曜日の朝に片付けを行う。
- ・ 大会中の防犯対策として、千成学区役員によるパトロールを随時実施している。
- ・ 子供相撲大会：本物と同じ仕様の土俵を作り、男女別・学年別の取組みのほか、同じ学年全員（男女別）が土俵に上がり、最後の1 人の「お山の大将」を目指す。賞品は毎年メロン1 個とする。
- ・ 盆踊り：お馴染みの曲に毎年1 曲を加えている。休憩時には参加者にアイスクャンディを配るほか、臨時の給茶所を設けて冷たい麦茶を振る舞っている。
- ・ 夜店（千成学区祭り同好会）：約 30 人で運営。飲み物やおにぎり、フランクフルト、みたらしの飲食コーナーとスマートボール、輪投げなどのゲームコーナーを出店する（ともに 100 円）。

【住民へのPR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、ポスター掲示

【アピールポイント】

大勢の参加者の笑顔と汗が見られる。携わった役員の連帯・達成感が感じられる。子供相撲は本物と同じ仕様の土俵で大いに喜ばれている。

2 きっかけ、背景

千成学区が誕生した昭和 35 年当時は、約半分が農地だったが、バブル期・地下鉄の延伸を機に住宅・マンションが急増し、学区としての一体感に欠けるように感じていた。そこで昔は各町内で行われていた文化行事を継続開催し、学区全体の交流を図り、同時に学区連絡協議会役員の団結を強くしたいと考えた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
消防団員、PTA、女性団体・女性会、
子ども会、スポーツ推進委員、千成
学区祭り同好会 計約 200 人

(2) 他団体との協力

千成小学校、豊国中学校、地域団
体、企業

4 実施のスケジュール

毎年5月 実行委員会の開催（計画書案作成）



6月 押木田公園使用許可等の申請（消防署等）



7月
・学区連絡協議会にて実施計画の決定
・準備用品・機材及び業者の手配
・開催案内チラシ・ポスターの作成、配布



8月
・子供相撲の土俵づくり
・大会当日の朝、会場準備

5 成果と課題

(1) 成果・効果

役員を含め 2 日間で 2,400 人ほどの参加がある大盛況の行事であり、住民間の交流が深まった。

(2) 苦労した点

平成 22 年は大会初日が雨天であったため、砂をトラック五台分敷いて開催したが、売店の生ものの処理等の対策に苦労した。

(3) 今後の課題・展望

担い手の世代交代。役員・祭り同好会の高齢化が進んでおり、若い世代の役員参加が望まれる。

